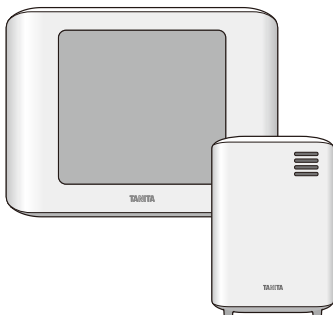


取扱説明書 保証書付

コンディションセンサー (無線温湿度計)

TC-400



※子機2台付

本書に記載されているイラストはイメージ図です。

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要なときにはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

本器について	—
安全上のご注意	2
取り扱い/保管/お手入れについて	3
各部の名称/付属品	4

準備する	—
電池を入れる	6
時刻を合わせる(標準電波の自動受信)	8
設置する	9





使いかた	—
使いかた	10
標準電波を受信できなかった場合	14
標準電波の自動受信を止める	15
子機を増設する	16
増設した子機の表示を見る	17
子機の消去/差し替え	18

必要なときに	—
電波時計について	19
快適範囲について	20
暑さ指標と気温、湿度の関係	21
熱中症予防のための 水分補給について	22
季節性インフルエンザについて	23
故障かな?	24
仕様	26
アフターサービスについて	27

このたびは「コンディションセンサー(無線温湿度計)TC-400」をお買い上げいただきありがとうございます。本器は親機、子機を設置した場所の環境と各設置場所の温度差が一目で確認できるコンディションセンサーです。各部屋の温度差をなくす「温度のバリアフリー」でからだにやさしい環境をつくりましょう。

安全上のご注意

この説明書では、本器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防止するためにいろいろな絵表示で説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。
 必ず守る	「必ず守っていただく」内容です。
お願い	本器を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。
お知らせ	本器の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。

警告

- ・電池や本器を乳幼児の手の届く場所に置かない
誤飲のおそれがあります。
- ・電池は火中に投じない
破裂してけがをするおそれがあります。
- ・航空機内や病院など、無線機器の使用が禁止された区域内では絶対に使用しない
業務用として航空機内や病院などで使用するための機能を備えておりませんので、機器類の誤作動による重大な事故の原因になるおそれがあります。
- ・体内埋め込み型医療機器を使用の場合は、本器の使用について主治医に相談する
電波により体内埋め込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

- ・充電式の電池は使用しない
- ・新しい電池と古い電池、種類の違う電池を同時に使用しない
液漏れや発熱、破裂のおそれがあり、本器の故障、けがなどの原因になります。
- ・携帯電話、無線LANルーターなど電波を発する機器の近くで使用しない
誤動作を起こして測定できないおそれがあります。

注意

- ・本器は熱中症や季節性インフルエンザ感染を予防できる商品ではありません
ご使用にあたっては仕様をご理解のうえ、めやすとしてお役立てください。

取り扱い/保管/お手入れについて

取り扱い/保管について



禁止

- ・絶対に分解しない
- ・倒したり、高いところから落とさない
- ・過度の衝撃や振動を与えない
故障するおそれがあります。



禁止

- ・親機は防水ではないので、湿気が多い場所や水のかかる場所で使用しない
故障するおそれがあります。



必ず守る

- ・高濃度のシンナー、ラッカー、酢、アンモニア、一酸化炭素などがある環境下で保管しない
故障するおそれがあります。



必ず守る

- ・壁や浴室タイルなどに設置する場合は、落下しないよう市販のクギ、吸盤フックなどの器具にしっかり固定する
- ・暖房器具に近い場所、温度・湿度の変化の激しい場所では保管しない
故障するおそれがあります。

お手入れについて



必ず守る

- ・アルコールや熱湯、シンナーやベンジンなどは使用しない
故障や部品の割れ・変色などのおそれがあります。
本器の汚れは、柔らかい布で拭いてください。

⚠ 防塵・防水上のご注意

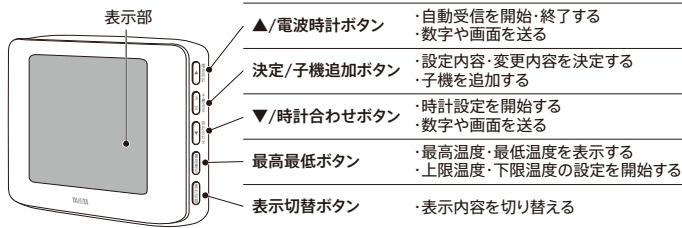
子機はJIS規格のIP65(防塵・防水性能)を満たすよう設計されておりますが、使用状況により防塵・防水性能の維持が困難になる場合があります。また、破損や故障の原因になったり、正しい測定ができなくなります。以下の内容を守ってご使用ください。

- ・電池フタが外れた状態では使用しないでください。
- ・電池フタのスライドロックはしっかりと閉じてください。
- ・40℃以上のお湯や蒸気をかけないでください。
- ・水に浸けないでください。
- ・通気口内部のセンサーが水で濡れた場合、乾くまでは温度・湿度が正しく表示できないことがあります。
- ・砂・ほこりなどの多いところで電池フタを開閉しないでください。

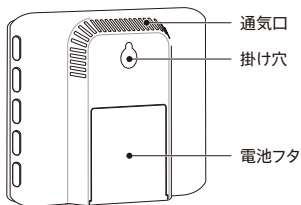
各部の名称/付属品

親機

表面

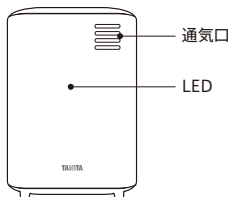


裏面

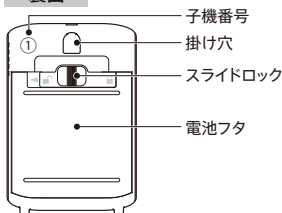


子機(2台)

表面



裏面



※子機番号① ②は表示部の子機マーク①②に表示されます

付属品

取扱説明書(本書)保証書付

お試用電池(単3形アルカリ乾電池LR6:親機用4本、子機2台用6本、計10本)

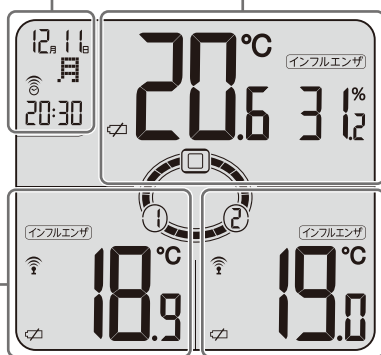
※不足しているものがございましたら、弊社お客様サービス相談室にご連絡ください。(裏表紙参照)

※子機(オプション)はタニタオンラインショップでも購入できます。

表示部

カレンダー・時計表示部

親機の測定結果表示



子機①の測定結果表示(オプション子機を増設した場合③と⑤)

子機②の測定結果表示(オプション子機を増設した場合④と⑥)

	電波時計通信マーク
	通信マーク
	電池交換マーク
	親機マーク
① ②	子機マーク
最高	最高マーク (P.11)
最低	最低マーク (P.11)

温度 ↓ 湿度	温度・湿度切替マーク (P.12)
熱中症	簡易熱中症注意レベル
インフルエンザ	インフルエンザ注意レベル
↑上限	上限マーク (P.13)
↓下限	下限マーク (P.13)

簡易熱中症注意レベル*: 3段階表示

熱中症
警戒

熱中症 嚴重
警戒

熱中症
危険

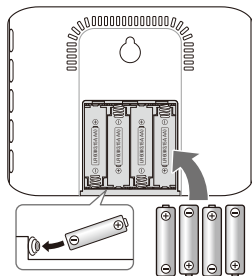
インフルエンザ注意レベル*

インフルエンザ 点灯: 季節性インフルエンザにかかりやすい環境のとき、お知らせします。

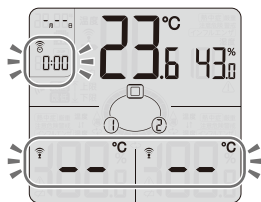
※各設置場所に対して表示されます。

電池を入れる

親機に電池を入れる

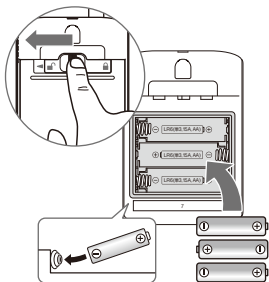


- 1 親機の電池フタを外して電池を入れ、電池フタを閉めます。

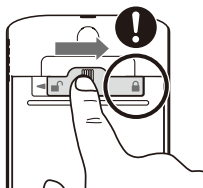


- 2 表示部に親機の測定結果が表示され、子機からの電波の待機状態になります。同時に、時刻の受信を開始します。
(☞ P. 8)

子機に電池を入れる



- 1 親機が近くにある状態でスライドロックを解除して電池フタを外し、電池を入れます。

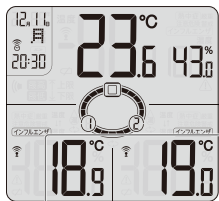


- 2** 子機の電池フタを閉め、スライドロックをしっかりとロックします。
子機が測定値を送信します。
(送信中は子機のLEDが断続的に早く点滅し、親機が受信に成功すると1分に1度点滅します。)




必ず守る

電池フタのスライドロックはしっかりとロックしてください。
水や粉塵が入り込み故障するおそれがあります。



- 3** 親機で、電池を入れた子機の測定値を受信します。
子機の温度と湿度が切り替わり表示されます。

※子機の測定値を受信するまでの時間は最大5分です。

電池が消耗していると「」が表示されます。速やかに新しい単3形アルカリ乾電池と交換してください。親機は4本、子機は3本、必ず同時に交換してください。

お願い



禁止

充電式の電池を使用しない

公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、誤動作や故障の原因となります。必ず指定の電池(単3形アルカリ乾電池)を使用してください。

新しい電池と古い電池、種類の違う電池を同時に使用しない
マンガン乾電池を使用しない

液漏れや発熱、破裂のおそれがあり、本器の故障、けがなどの原因になります。



必ず守る

電池を入れるときは、極性(⊕、⊖)の方向を間違わない

液漏れなどで、床などを汚損するおそれがあります。
(長期間ご使用にならない場合は、電池を本器から取り外してください。)

お知らせ


- ・付属の「お試し用電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。
- ・使用済み電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処分してください。

時刻を合わせる(標準電波の自動受信)




- 1 親機に電池を入れると、表示部に 0:00 が表示され電波時計(標準電波)の受信を開始します。(P.19)

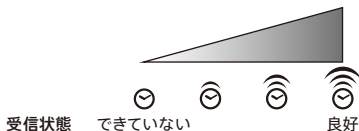


- 2 標準電波を受信すると、 が点灯し、月日と時刻が表示されます。受信に要する時間は最長約20分です。


お知らせ

- ・電波時計(標準電波)は毎日午前2時に受信を開始します。受信できなかった場合は、その後3時間ごとに自動で受信します。(1日最大8回)
- ・夜間は昼間に比べて受信状態が良好になりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日に自動受信できる場合があります。
- ・標準電波受信中にボタンを操作すると、受信が中断されます。手動で日時を合わせてからボタンを操作してください。

- ・標準電波を受信できない、または受信が中断されたときは  が表示されます。この場合、時刻およびカレンダーは修正されていません。
- ・受信できない場合は本器の向きや場所を変えて、もう一度受信させてください。電波を受信しやすい窓際などに置くことをお勧めします。



手動受信について

- ・自動受信できなかった場合に、 (電波時計) ボタンを約2秒間長押しすると、標準電波の受信を開始します。

※受信できない場合は、P.14を参照してください。

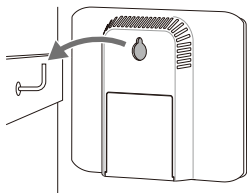
設置する

直射日光やエアコン、加湿器などの送風が当たらない場所に設置してください。

設置してから約30分後に正しい値を表示します。

通気口をふさがないように設置してください。

正確な温度、湿度が表示されません。

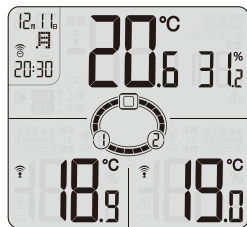



壁にクギや吸盤フックなどを取り付け、掛け穴にかけて設置することもできます。

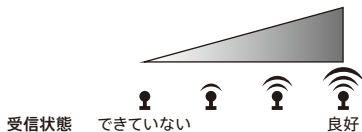
この場合は、落下しないようしっかり固定してください。

通信できる距離は見通しのよいところで約50mです。

親機と子機間に障害物がある場合、電波の伝達距離が短くなります。また、親機や子機の近くに電波を発する機器があると、測定結果が送受信できない場合があります。

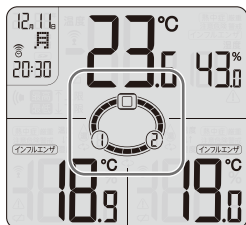


設置後は、表示部の通信マークで電波を良好に受信していることを確認してください。良好に受信していないときは、設置場所を変更してからご使用ください。



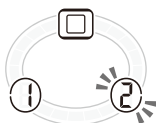
使いかた

本器について



親機と子機①・子機②の設置場所の温度差をイラストで表示します。「温度のバリアフリー」が実現できているか一目で確認することができます。

準備する

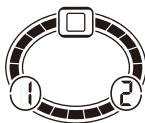


親機、子機①、子機②の設置場所の温度を快適温度範囲内に調節しましょう。

快適範囲内の場合：□/①/② 点灯

快適範囲外の場合：□/①/② 点滅

例) 親機、子機①の設置場所が快適温度範囲内で子機②の設置場所が快適範囲外の場合



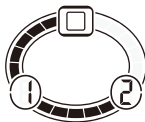
各設置場所の温度差を抑えましょう。

温度差が5℃以内*のときは輪がつながります。温度のバリアフリーが実現しています。

*部屋の温度差5℃

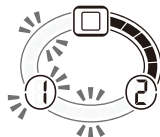
出典：「社会福祉施設管理者のための環境衛生設備自主管理マニュアル」(東京都福祉保健局)

使いかた



温度差が大きいときは輪が欠けます。温度を調節しましょう。

例) 親機と子機②の設置場所の温度差が大きいとき

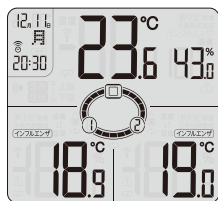


例) 子機①の設置場所が快適温度範囲外の場合、点滅するマークから延びるラインは点滅します。子機①の設置場所の温度を調整しましょう。

必要なときに

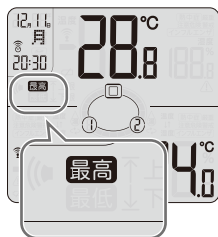
最高温湿度と最低温湿度を表示させる

親機と、表示部に表示されている子機の最高温度・湿度と最低温度・湿度を表示します。ご不在の間のお部屋の環境を確認することができます。



- 1 通常の温度・湿度表示中に、親機のボタンを押します。

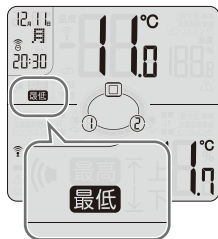
最高最低



- 2 それぞれの最高温度・湿度と**最高**が表示されます。

お知らせ

・通常の温度・湿度表示以外の最高温湿度、最低温湿度を確認する場合は確認したい子機の画面が表示してから**最高最低**ボタンを押してください。(増設した子機の表示を見る場合はP.17参照)



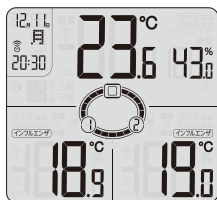
- 3 最高温度表示中に**最高最低**ボタンを押すと、それぞれの最低温度・湿度と**最低**が表示されます。もう一度押すと、通常表示に戻ります。

お知らせ

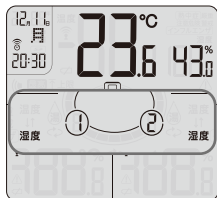
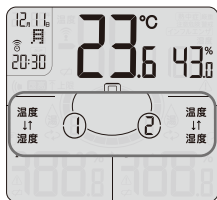
・0時～23時59分までに測定した最高値と最低値を表示します。
 ・約20秒間操作がない場合、通常表示に戻ります。

使いかた(つづき)

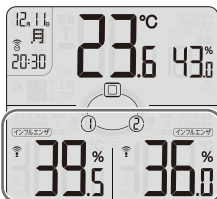
子機の温度と湿度の表示を切り替える



通常表示画面



例) 湿度を選択した場合



例) 湿度固定表示にした場合

- 1 通常表示中に、**表示切替** ボタンを押します。

- 2 温度と湿度の切り替え画面が表示されます。

- 3 **表示切替** ボタンで「温度」「湿度」または「温度と湿度」を選択し、**決定** ボタンを押します。

温度	温度表示に固定
湿度	湿度表示に固定
温度 ↑ 湿度	温度湿度自動切り替え表示

変更内容が保存され、通常表示に戻ります。

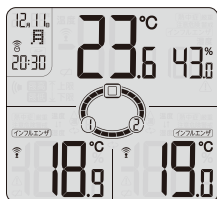
お知らせ

・約20秒間操作がない場合、通常表示に戻ります。

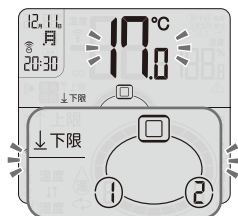
快適温度範囲を変更する

本器は快適温度の範囲を変更することができます。快適温度の範囲とはめやすとすべき温度範囲です。(P.20)

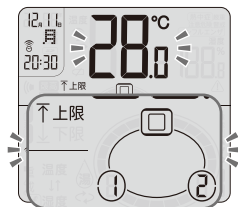
季節に応じて快適な室内環境を保ちましょう。



- 1 通常表示中に、**最高最低** ボタンを約2秒間長押しします。



- 2 **↓/↑** ボタンで下限温度を選択し、**決定** ボタンを押します。



- 3 **↓/↑** ボタンで上限温度を選択し、**決定** ボタンを押します。

変更内容が保存され、通常表示に戻ります。

お知らせ

- ・変更できるのは温度設定だけです。
- ・設定できる下限温度と上限温度の範囲は、17°Cから28°Cの間です。
- ・上限温度は、設定した下限温度以上、28°C以下の範囲で変更できます。

標準電波を受信できなかった場合

・ご使用中にⓈが表示されない場合は、使用場所の受信状態が良好でないことが考えられます。詳しくはP.19を参照してください。

手動で日時を合わせる

標準電波を受信できない場合、手動で日時を合わせてご使用ください。



- 1 ▼ (時計合わせ) ボタンを約2秒間

長押しし、▼/▲ ボタンで西暦を選択し、

決定 ボタンを押します。

※設定範囲: 2018~2050年



- 2 ▼/▲ ボタンで月を選択し、決定 ボタンを押します。



- 3 ▼/▲ ボタンで日を選択し、決定 ボタンを押します。

同様に時、分も設定します。

標準電波の自動受信を止める

受信状態が良好でない場合は、自動受信を止める機能があります。



- 1 OFFが表示されるまで▲(電波時計) ボタンを約8秒間長押しします。



- 2 OFFと☉ が約3秒間表示されます。



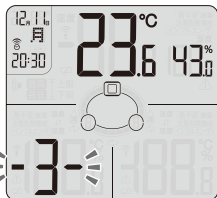
- 3 設定完了です。
自動受信に戻す場合は、同様に▲ボタンを約8秒間長押ししてください。

子機を増設する

注) 子機を増設する場合は、オプションの無線温湿度センサー TC-OP01をお求めください。

子機は、オプションで4台まで増設できます。子機③が増設できるのは子機①と子機②が通信できている場合です。

※通信できていない場合 ⇒ 「子機を手動で設定する」



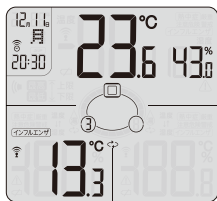
- 1 通常画面表示中に **決定** ボタンを長押しし、
▼ / ▲ ボタンで **-3-** を選択して **決定**
ボタンを押します。

- 2 子機③に電池を入れます。
(☞ P.6~P.7)

- 3 子機③の測定値が表示されます。

お知らせ

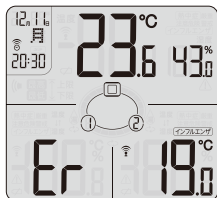
- ・親機と増設した子機間では温度差を表すイラストは表示されません。
- ・子機①② ⇒ 子機③④ ⇒ 子機⑤⑥の順に自動で切り替わります。



子機を手動で設定する

子機との通信が約15分以上途絶えると、Erが表示されます。

例) 子機①に Er が表示された場合

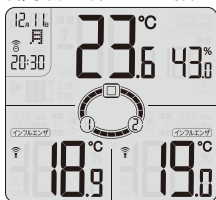


- ・子機を親機の近くに置いて電池を入れ直してください。
- ・子機を紛失、破損した場合は子機の登録情報を消去し新しい子機に差し替えてください。(☞ P.18)

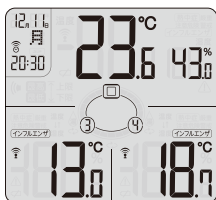
増設した子機の表示を見る

子機を増設した場合、表示画面を送って確認することができます。

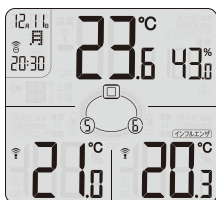
例) 子機が6台まである場合



- 1 通常表示中に▲ボタンを押すと、子機①と子機②の画面が表示されます。



- 2 再度▲ボタンを押すと、子機③と子機④の画面が表示されます。



- 3 もう一度▲ボタンを押すと、子機⑤と子機⑥の画面が表示されます。さらに▲ボタンを押すと、子機①②⇒③④⇒⑤⑥の順に自動で切り替わります。

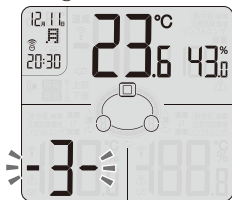
決定 ▲ボタンを押すと、選択した画面が表示されます。

お知らせ

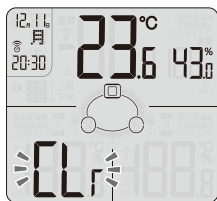
- ▼ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約20秒間操作がないと、通常画面に戻ります。

子機の消去/差し替え

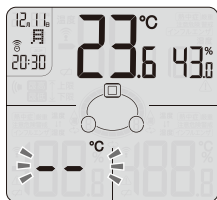
例) 子機③を消去し、新しい子機に差し替える場合



通常表示中に、**決定** ボタンを長押し、**▼**/**▲** ボタンで消去したい子機を選択します。

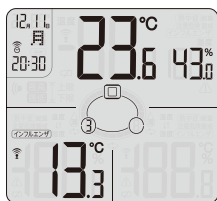


決定 ボタンを押して、**[Lr]** を選択し、
再度 **決定** ボタンを押します。



通常表示中に、**決定** ボタンを長押し、**▼**/**▲** ボタンで差し替えたい子機を選択します。

決定 ボタンを押して、差し替える子機③に電池を入れます。



子機③の測定値が表示されます。

電波時計について

電波時計

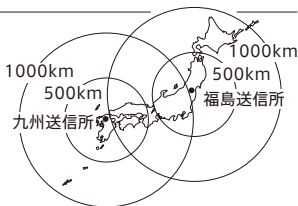
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

標準電波とは

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ「原子時計」によるものです。

電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東・西2カ所)からおおむね1000km~1200kmです。本器は40kHz(東・福島送信所)、60kHz(西・九州送信所)のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



⚠ 注意

- ・電波障害などにより、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
- ・電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。(P.14)
- ・標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。電波に関する情報は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。(裏表紙参照)

使用場所について

本器は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに置いてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ・ビルの中、ビルの谷間、地下。
- ・高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- ・テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く。
- ・工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多いところなど、電波障害の起きるところ。
- ・乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
- ・携帯電話や電子レンジ、その他の電波ノイズを発生させるものの近く。
- ・スチール机など金属製の家具の上や近く。

快適範囲について

快適範囲のめやす

温度

17℃以上28℃以下*

居室における温度を外気の温度より低くする場合は、その差を著しくしないこと*



エアコンの普及により、冷やしすぎが多いようです。内気温と外気温の差がありすぎると体調を崩しやすくなります。



内気温



外気温



小さなお子さんとお年寄りでは体感温度は異なってきます。状況や、環境に応じて、こまめに温度調節をしましょう。

湿度

40%以上70%以下*



湿度が高くなると…

カビやダニが繁殖しやすくなります。また、細菌性食中毒の危険性が高くなります。



湿度が低くなると…

気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザなどにかかりやすくなります。

※出典:建築物における衛生的環境の確保に関する法律

暑さ指標と気温、湿度の関係

暑さ指数(WBGT)*は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、その値は気温とは異なります。WBGTは人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

※WBGT: Wet Bulb Globe Temperature (湿球黒球温度)

本器では、以下の温度基準(WBGT)で「危険」、「嚴重警戒」、「警戒」のときにお知らせします。

温度基準(WBGT)	注意すべき生活活動のめやす	注意事項
危険 (31°C以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28°C以上31°C未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25°C以上28°C未満)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25°C未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

出典:日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)

相対湿度(%)

	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
37	27	28	29	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41
36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36
32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35
31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32
28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24

図. WBGTと気温、湿度の関係

熱中症予防のための水分補給について

●どんなものを飲むか。

摂取する飲料の組成としては0.1～0.2%の塩水またはナトリウム40～80mg/100mLのスポーツドリンクを20～30分ごとにカップ1～2杯(100～200mL)程度を摂取することが望ましいです。また、飲み物の温度は5～15℃が望ましく、冷たい方が胃から小腸への移動が速く、冷水による物理的な冷却効果も期待できます。

●どれくらい飲むか。

人の身体からは、発汗だけでなく、呼吸によっても意識されずに水分が蒸発します。よって、日中はコップ半分程度の水分を定期的に(1時間に1回程度)補給しましょう。のどの渇きを感じる前に水分補給を心がける習慣をつけましょう。特に高齢者はのどの渇きを感じにくくなっているため、十分注意する必要があります。

●こんなときにも忘れずに。

①睡眠時

寝ている間も呼吸や汗によって水分は失われます。就寝前と起床時にコップ1杯(約200mL)の水分補給をしましょう。

②飲酒時

アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上に水分を排せつするので、飲酒後は水分を十分補給しましょう。

③入浴時

入浴時は思ったよりもたくさん汗をかきます。入浴前後にコップ1杯(約200mL)の水分を補給しましょう。

④エアコンの部屋

エアコンを使うと室内の空気が乾燥しますので、気がつかないうちに脱水が生じます。こまめに水分補給しましょう。

出典:日本生気象学会「防ごう熱中症」

季節性インフルエンザについて

庄司内科小児科医院、庄司眞先生の解析結果により、絶対湿度(体積1m³の空気中に含まれる水蒸気の量)が季節性インフルエンザの流行に大きく関与することが確認されました。

インフルエンザ対策の目安	絶対湿度 ^{※1}	空気の乾燥状態	空気の乾燥状態とインフルエンザの流行	生存率 ^{※2}
警戒	7g/m ³ 以下	乾燥	空気が特に乾燥してインフルエンザが 流行しやすい状態	20%
注意	11g/m ³ 以下	やや乾燥	空気が乾燥してきてインフルエンザが 流行してよい状態	5%
ほぼ安全	17g/m ³ 以下	湿潤	空気が湿っていてインフルエンザの 流行はしにくい状況	ほぼ0%
	17g/m ³ を超える	非常に湿潤	空気が大変湿っていてインフルエンザの 流行は非常にしにくい状況	

「季節性インフルエンザの流行と絶対湿度」

資料提供: 仙台市 庄司内科小児科医院 院長 庄司眞先生

※1 相対湿度と絶対湿度について








相対湿度は本器や天気予報などで使われている湿度のことで、その空気の温度での飽和水蒸気量(これ以上空気に溶かすことができない水分量)を100%として、今は水分が何%含まれているかを%(単位)で表します。それに対して絶対湿度は室温に関係なく体積1m³の空気中に含まれる水蒸気のことです。g/m³(単位)で表します。従って、同じ相対湿度60%でも、15℃では絶対湿度8g/m³、25℃では絶対湿度14g/m³と異なります。

本器は、季節性インフルエンザの感染予防めやすをより分かりやすくするために、温度と相対湿度から絶対湿度を計算し、「警戒」に当てはまる場合に(インフルエンザ)が点灯してお知らせします。

※2 生存率について

各環境下で空気中に散布された季節性インフルエンザウイルスの6時間後の生存率です。

故障かな？

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
何も表示されない	電源が入っていない 電池が正しい向きで入っていない	電池の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。 電池を正しく入れ直してください。	P.6~7
表示されている文字やマークが欠けている ☑が点灯した	電池の残量が少なくなっている	電池の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。	P.6~7
時刻が合っていない ☉が表示される	標準電波の受信に成功していない	手動で受信してください。受信に成功しなかった場合は、「標準電波を受信できなかった場合」をお読みください。	P.8/14
 °C が表示される	温度が60.0°Cを超えている	温度を下げてください。	P.20
 °C が表示される	温度が-10.0°C未満(親機)/ -30.0°C未満(子機)になっている	温度を上げてください。	P.20
温度や湿度が異常に高い、あるいは低い	直射日光やエアコン、加湿器などの送風が当たっている センサーが水に濡れている	設置場所を変更してください。 センサーが乾くまでは温度・湿度が正しく表示されないことがあります。	P.3/9
 または  が表示される	子機との通信が約15分以上途絶えている	子機を親機の近くに置いて電池を入れ直してください。 子機を紛失、破損した場合は子機の登録情報を消去し新しい子機に差し替えてください。 通信できる距離は見通しのよいところで約50mです。	P.16
通信マークが  または  と表示される	通信が良好ではない	設置場所を変更してください。	P.9
通信マークが  と表示される	通信できていない	設置場所を変更してください。	P.9

症状	考えられる原因	処置
親機で表示される子機の測定値がおかしい	親機と子機を環境が違う場所で電池を入れた	子機を親機の近くに置いて電池を入れ直してください。

仕様

親機

表示内容	カレンダー	月日・曜日表示
	時計	24時間表示 (電波受信による時刻修正を行わない場合 平均月差±30秒以内)
	温度	-10.0~60.0℃ 0.1℃単位 -10.0℃未満:Lo、60.0℃を超える:Hi
	湿度	0.0~100.0% 0.1%単位
	簡易熱中症注意レベル	3段階(警戒、嚴重警戒、危険)各設置場所に対して表示
	インフルエンザ注意レベル	(インフルエンザ) 消灯、点灯・季節性インフルエンザの注意レベルを各設置場所に対して表示
	温度差表示	各設置場所の温度差をイラスト表示
最高・最低温湿度	0時~23時59分までの最高温度・湿度、最低温度・湿度 各設置場所に対して表示	
使用温湿度範囲	温度	-10.0~60.0℃
	湿度	0.0~100.0%
精度	温度	10.0~50.0℃ ±1.0℃ それ以外±2.0℃
	湿度	10.0~90.0% ±5.0% それ以外±10.0%
通信方式	特定小電力無線	
通信距離	約50m(見通しのよい空間距離)	
電源	DC6V 単3形アルカリ乾電池(LR6)×4本	
電池寿命	約1年(機器の使用状況や環境などによる)	
寸法・質量	約幅162×高さ125×奥行40mm 約330g(乾電池含まず)	
主な材質	ABS、PMMA	

子機

測定範囲	温度	-30.0~60.0℃ 0.1℃単位
	湿度	0.0~100.0% 0.1%単位
使用温湿度範囲	温度	-30.0~60.0℃
	湿度	0.0~100.0%
精度	温度	10.0~50.0℃ ±1.0℃ それ以外±2.0℃
	湿度	10.0~90.0% ±5.0% それ以外±10.0%
通信方式	特定小電力無線	
通信距離	約50m(見通しのよい空間距離)	
防塵防水保護等級	IP65*	
電源	DC4.5V 単3形アルカリ乾電池(LR6)×3本	
電池寿命	約1年(機器の使用状況や環境などによる)	
寸法・質量	約幅73×高さ107×奥行31mm 約111g(乾電池含まず)	
主な材質	ABS、ABS+PC	
付属品	お試用電池(単3形アルカリ乾電池(LR6)×10本) 取扱説明書(保証書付)	

*IP65とは「粉塵が内部に侵入するのを完全に防止するもの」「あらゆる方向からのふん流水を受けても有害な影響がないもの」というJIS C 0920の規格です。

*湿度の高いところで長期間保管すると、湿度精度に影響する場合があります。

・本器は工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。日本国内でご使用ください。

・デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

1、保証書について

保証書は、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年です。

2、修理を依頼されるとき

●保証期間中は、弊社お客様サービス相談室にお電話にてご連絡のうえ、本器に保証書を添えてお送りください。

●保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本器の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3、ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

無料修理規定

1、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

2、保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡のうえ、本器と保証書をお送りください。

3、ご贈答品などで保証書に必要事項が記入されていない場合には、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。

4、保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。

イ、使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷

ロ、お買い上げ後の落下などによる故障および損傷

ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷

ニ、保証書の提示がない場合

ホ、保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

5、保証書は、日本国内においてのみ有効です。

6、保証書は、再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 **TANITA**

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先

フリーダイヤル  **0120-133821**
携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
 携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビダイヤル  **0570-783551**
通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間/9:00~18:00(祝日を除く月~金)

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

TANITA 保証書

販売店様へ

ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ

本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報は、修理完了品の発送にのみ使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき、責任を持って管理いたします。

品 名	コンディションセンサー(無線温湿度計) TC-400		
保証期間	本体 お買い上げ日より 1年		
お買い上げ日	年	月	日
お 客 様	お名前 様		
	ご住所		
	お電話 ()		
販 売 店	住所・店名		
	電 話 () (印)		